

北海道社会学会ニュース

H.S.A.NEWSLETTER

発行：北海道社会学会事務局

〒060-0906 北海道札幌市東区北6条東3丁目3-1 サッポロ63ビル6階
北海道NPOサポートセンター気付

FAX: 011-299-6941 E-mail: socio@npo-hokkaido.org 担当 畑
郵便振替口座 02760-3-3085 URL <http://wwwsoc.nii.ac.jp/hsa>

HOKKAIDO SOCIOLOGICAL ASSOCIATION

c/o Hokkaido NPO Support Center,

Sapporo 63 Bldg., Kita 6 Higashi 3 3-1, Higashi-ku,

Sapporo, 060-0906 JAPAN URL <http://wwwsoc.nii.ac.jp/hsa/>

編集責任者：西浦功（庶務理事） 北翔大学人間福祉学部 nishiura@hokusho-u.ac.jp

〒069-8511 江別市文京台23番地 TEL 011-386-8011（代表） FAX 011-387-3692（人間福祉学部共同研究室）

第 60 回大会について

すでに 6 月の学会大会の総会で明らかにされたとおり、来年度の大会は國學院大學北海道短期大学部（滝川市、野崎剛毅会員が在職）で開催されます。11 月の理事会で、開催日を 2012 年 6 月 9 日（土）または 10 日（日）のいずれか 1 日とすることが了承されました。いずれの日にするかは確定次第、ホームページ等でお伝えいたします。札幌ー滝川間は JR の特急で 50 分です。会員の多い札幌圏からの日帰りが可能なようにプログラムを編成する予定です。

大会テーマセッションの募集について

今回は 60 回という節目の大会ですが、とくにそれを意識したイベントは今のところ計画しておりません。代わりにテーマセッションを会員から募集することにいたしました。以下を参考に会員からの積極的な提案をお待ちしております。

- ①共通のテーマに関して 3 人程度の報告を念頭に、その内容とコーディネーターを募集します。提案はコーディネーターからとし、了解を得た報告者全員の氏名、全体の内容、および各人の現時点での報告題目を下記へ電子メールでご連絡ください。内容は科研の合同報告といったものを一つのイメージにしています。
- ②報告者は原則として北海道社会学会会員としますが、うち 1 名は会員外でもかまいません。
- ③時間は報告と質疑応答をふくめて 2 時間程度を目途にお考えください。

なお大会シンポジウムは開催校の意向なども関係しますので、ご提案いただいても、ただちに来年度の大会に採用にならない可能性もあります。その点については予めご了承ください。

締切：2012 年 1 月 23 日（月）

結果の報告：研究活動委員会で検討し、次回のニュー

ズレターで結果を報告します。

お問い合わせ・送付先：研究活動委員会（委員長）

北海道大学大学院文学研究科 平沢和司

Tel：011-706-3322（直通）

E-mail：hirasawa@cme.hokudai.ac.jp

2011 年度第 1 回理事会報告

日時：2011 年 11 月 28 日（木）18:00～

会場：札幌市立大学サテライトキャンパス会議室

出席者：櫻井会長、原副会長、平沢・飯田・高橋・小内(透)・木戸・西浦の各理事（小内純子理事は欠席）

報告及び議題

1. 理事会報告および議題（櫻井会長）
 - 1-1. 会計担当理事の交代について
高橋会計担当理事の異動に伴い、木戸・小内(純)理事のどちらかを新しい会計担当理事に選出することが確認された。
 - 1-2. 北翔大学からの寄付金について
北翔大学より本学会へ 6 万円を寄付する旨の申し入れが了承された。
2. 研究活動委員会報告および議題（平沢研究活動委員長）

次回大会を 2012 年 6 月 9 日（土）または 10（日）のいずれか 1 日で國學院大學北海道短期大学部において開催すること、および、企画内容について協議され、テーマセッションについて会員から公募することなどが確認された。
3. 編集委員会報告および議題（飯田編集委員長）
 - 3-1. 原稿執筆・依頼状況について
『現代社会学研究』第 25 巻（2012 年 6 月発行

予定)の編集状況について、投稿論文が6本あったこと、書評3本、往来3本が掲載予定であることなどが報告された。

3-2. 執筆要項の見直しについて

原稿枚数・文字数制限の厳守のほか、執筆者カードを「投稿申込書」とする等の文言の訂正が確認された。

3-3. 査読手続きの変更について

自由投稿論文の査読者に対し、執筆者による修正原稿を送付する際に、他の1名の査読者の評点およびコメントを同封することが承認された。

3-4. 学会事務局との折衝について

自由投稿論文の執筆者およびレフェリーとのやり取り等、公平性・透明性確保の求められる手順以外は、今後できるだけ編集長が直接、関係者と連絡をとることが確認された。

4. 庶務報告および議題(西浦庶務担当)

4-1. 会員異動(2011年8月~11月)

会員5名の退会について承認された。

4-2. 研究奨励金の応募状況について

10月末日に締め切ったが、応募がなかったことが報告された。→募集期間を延長することになった(詳細は別項を参照)。

4-3. 社会学系コンソーシアムについて

2014年に横浜で行われる世界社会学会議で、「世界へのメッセージ」を配信する計画が進行中であることが報告された。

4-4. 『現代社会学研究』の電子化作業について

(独)科学技術振興機構との間で進められている論文電子化作業の進行状況が報告された。

4-5. 学会ホームページサーバーについて

現在国立情報学研究所にて提供されているサーバーが2012年3月31日に終了予定であることが報告され、サーバーの移動先を今後検討していくことが確認された。

北海道社会学会研究奨励金について

北海道社会学会では社会学研究の活性化と若手の育成を目的として、研究奨励金を交付しています。

前号のニュースで奨励研究を募集いたしました、締め切り日までに応募がなかったため、募集期間を延長します。下記を熟読のうえ、ぜひご応募ください。

1. 募集件数:2件(1件5万円)

2. 応募資格:本会会員(若手単独が望ましい。若手とは、自分で科学研究費申請ができない地位にある大学院生や大学院修了者等を指す)

3. 条件:奨励金交付後2年以内の本学会大会での研究発表、および2年以内の『現代社会学研究』への投稿を条件とします。

4. 応募方法:まず応募用紙を庶務理事あてe-mailでご請求いただくか、ホームページからダウンロード(<http://www.soc.nii.ac.jp/hsa/syoreikin.html>)してください。ついで応募用紙に下記を記入し、庶務理事まで郵送により提出してください。

①研究テーマ、②応募者(氏名・所属)〒・住所・TEL・FAX・e-mailアドレス、③研究の目的と「社会学研究」としての意味・位置づけ等(具体的に)、④研究の方法と予想される成果(具体的に)、⑤指導教員のサインと印

5. 応募用紙の提出期限:2012年2月17日(金)必着

6. 提出先・問い合わせ先:西浦功(庶務理事、あて先は1ページ参照)

会員異動(2011年8月~11月)

(ホームページ公開版では省略)

会費の納入について

2011年度会費または未納分会費について、同封の郵便振替用紙[郵便振替口座 02760-3-3085]にてすみやかに振り込み手続きをお願いします。年会費は一般会員6,000円、学生・院生会員4,000円です。2011年度会費を納入されていない方には、機関誌第24巻(2011年6月発行)をお渡しできません。5年間滞納されると、自然退会の扱いとさせていただきます。